



特 別
 ~13
 4354
 1

113
4354
1



鎌倉あまの川の浪入
玉造方太郎妹は不佐

娘
十代
能

さふかしく
たくし桶の
底ぬけて
水たきねが
月も
あはらう

重井筒屋
徳兵衛

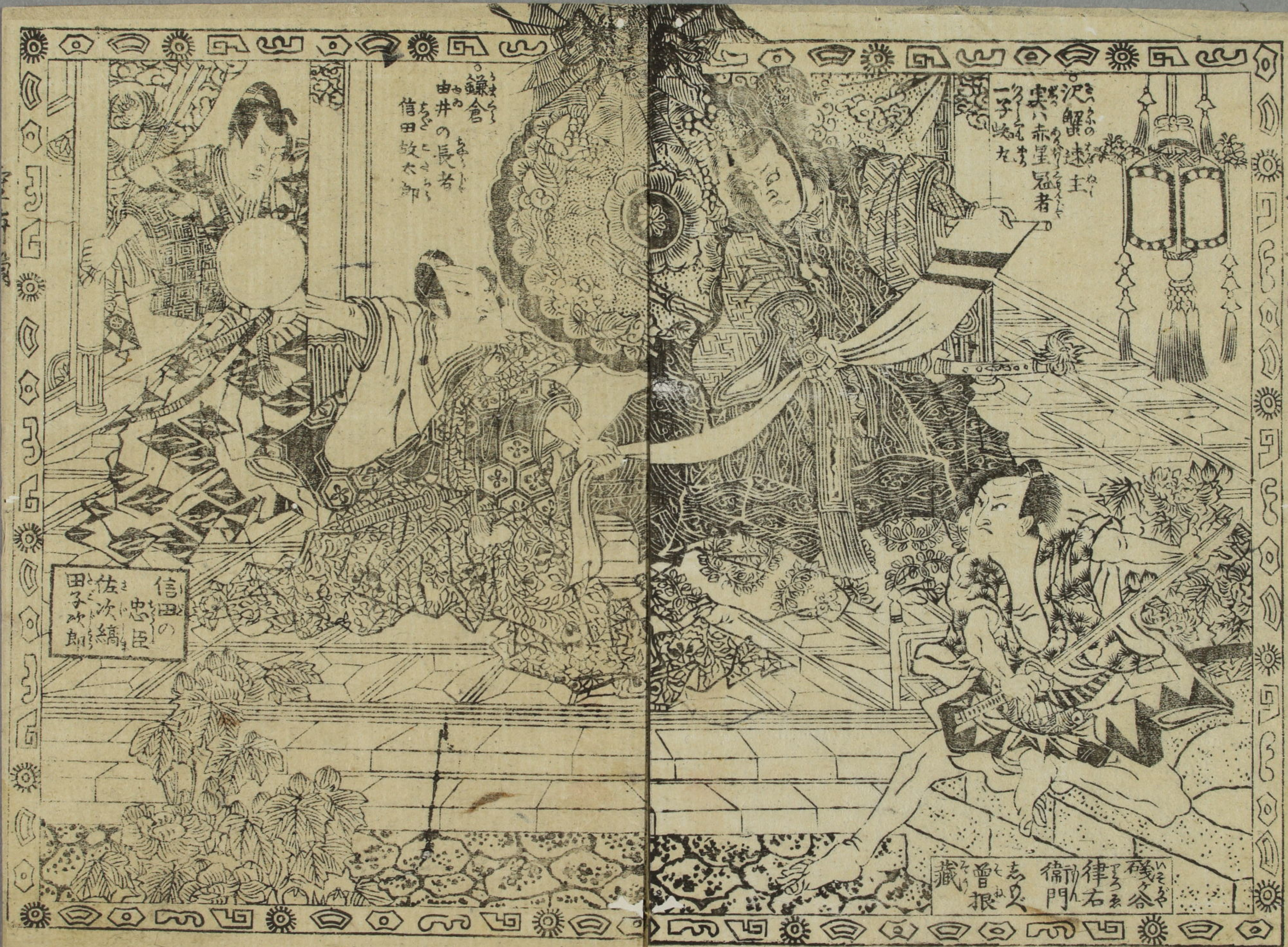
文化十年癸酉春
新繪草紙

信田小太郎の狂言ふお八ツの
太鼓の浄瑠璃とさうりすどく
う献立ハ重井筒の重看
けり料理のどろこ汁
煤掃アやうアの鱈皿
あんのごまらの歯ぎし
さきどのさうの時小まぶら
りあーと唯ほひのきを
葱鮫く

山東京傳

筆硯萬福





鎌倉
由井の長者
信田故太郎

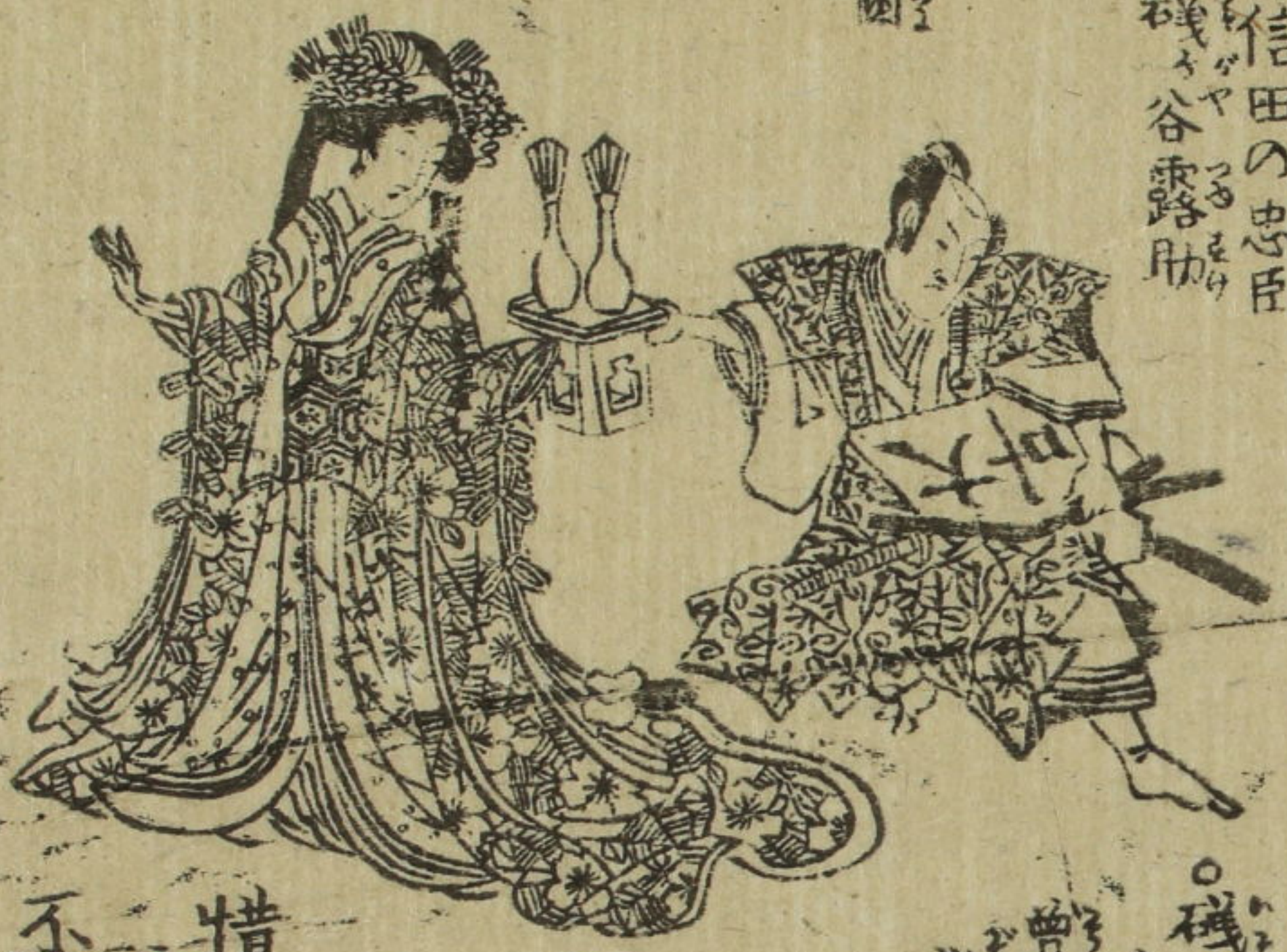
沢解速主
実ハ赤星冠者
一子此丸

信田の
佐次郎
田子次郎

磯谷
律右衛門
志曾
藏



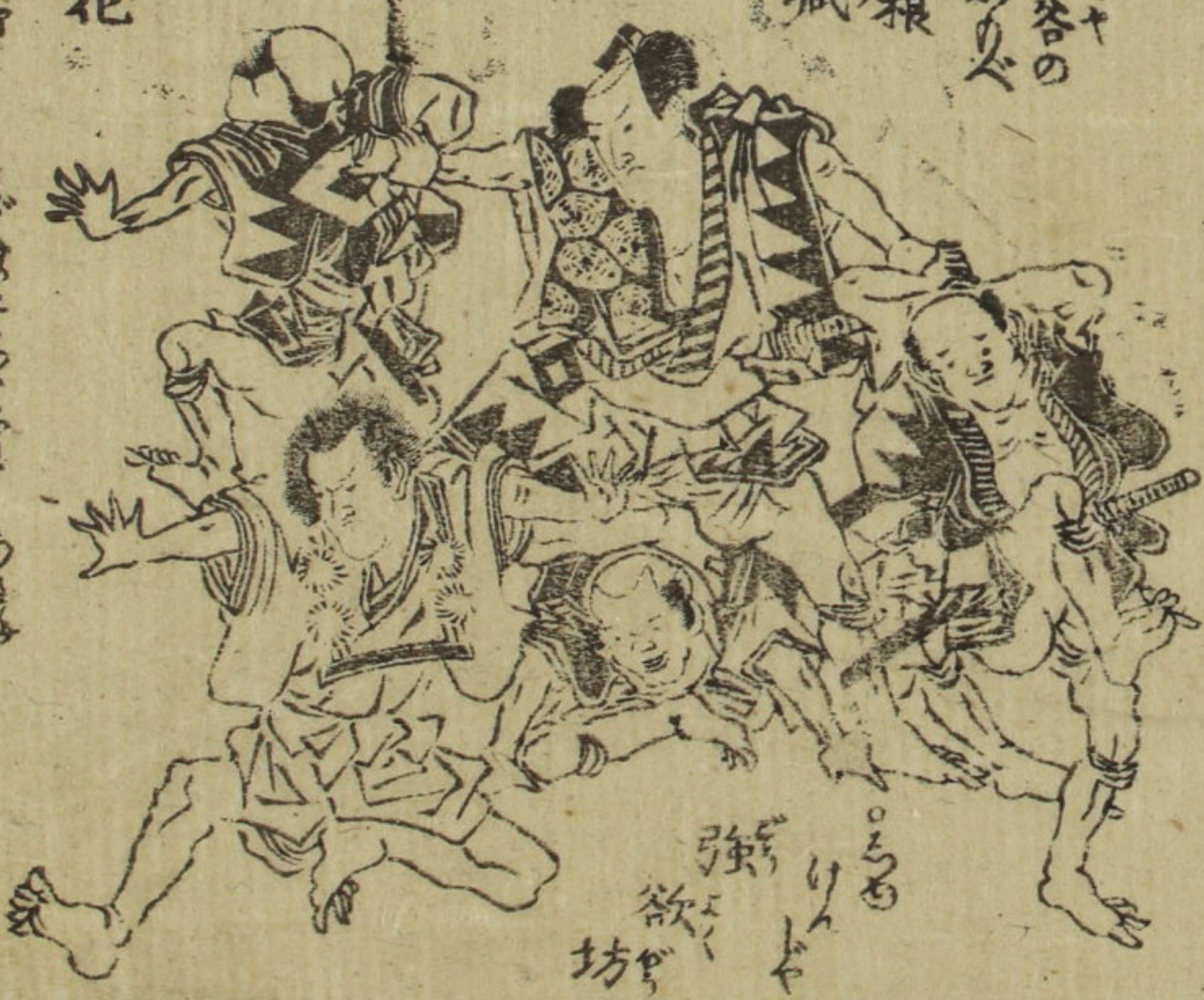
色香の姫
息女領の島
浮城郡



信田の忠臣
磯谷露助

惜花
不掃地

我奴落茶朝身のり
其角



磯谷の
曾根
藏

鶴川平兵衛の録用

強欲坊



右故人
白猿
狂歌

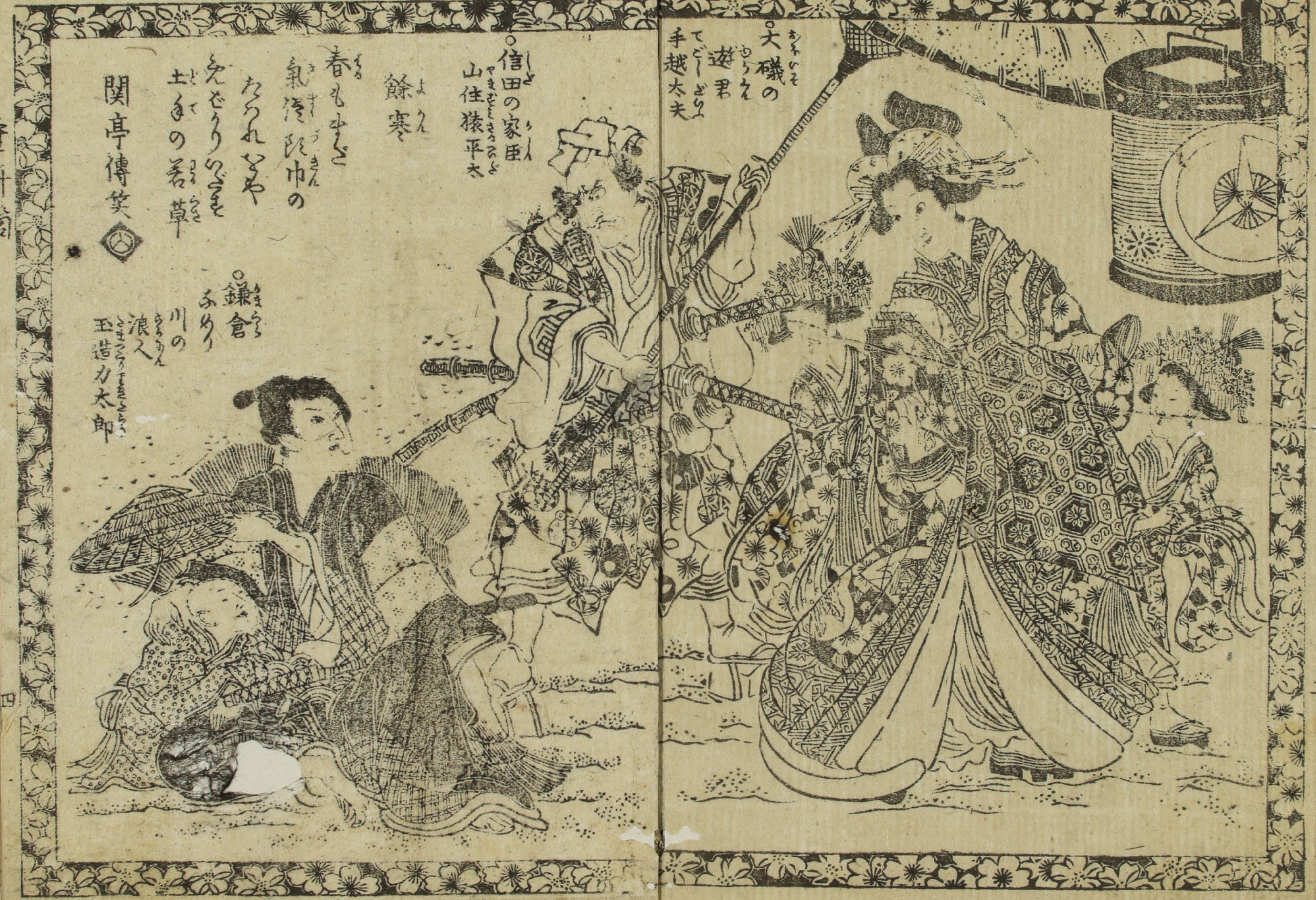
三がいで
生れ流轉の
まろ



玉造力太郎妹
於不佐

鎌倉朝比奈切通の白舩遊々





大磯の
遊君
手越大夫

○信田の家臣
山住猿平太

餘寒

春も中々
氣は既巾の
たられしや
免さりのさき
土手の若草

関亭傳笑

鎌倉
川の
浪入
玉造力太郎

玉造力太郎

玉造力太郎

